

平成28年度 9月補正予算参考資料

〔 第2次追加提案分 〕

トータルコストの表記について

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成28年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費

生産振興課 (内線: 7272)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 平成28年度ブロッコリー 産地再生緊急支援事業	0	8,331	8,331				8,331	
トータルコスト	0	9,111	9,111	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	関係団体との連絡調整、補助金交付事務				
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

9月以降、台風16号を中心として長雨が続き、生育途中のブロッコリーに黒腐病等が発生し、枯れる被害が多発している。特に西部地区で被害が大きく、今後の営農の継続を危惧する声が上がっている。そこで、産地の維持・継続を図るため、生育途中のブロッコリーの病気の発生を防止する対策及び営農再開意欲のある生産者に対して、再生産に要する経費を支援する。

2 主な事業内容

(1) 緊急防除支援事業

(単位: 千円)

事業内容	補助事業者	事業実施主体	事業費	予算額	負担割合
定植中のブロッコリーの生育を回復させるため、緊急防除に要する経費を助成する。	市町村	生産者、JA、 生産組織	6,447	2,149	県1/3 (市町村負担は 任意)

(2) 産地再生緊急支援事業

(単位: 千円)

事業内容	補助事業者	事業実施主体	事業費	予算額	負担割合
営農再開意欲のある生産者に対して、作付再開及び再生計画の作成を条件に、ブロッコリーの再生産に要する経費(種苗費、肥料代、農薬代)を、被害程度に応じて助成する。	市町村	生産者、JA、 生産組織	18,546	6,182	県1/3 (市町村負担は 任意)

※被害程度別助成金額

被害程度(枯死率)	再生産に要する経費 (A)	助成割合 (B)	補助基準額(円/10a) (A×B)
80%以上	76,000円/10a	0.6	45,600
60%以上80%未満	(種苗費・肥料代・農薬代)	0.4	30,400
30%以上60%未満		0.2	15,200

3 事業実施期間: 平成28年度

4 現状、課題

- 鳥取県は西日本有数のブロッコリー産地であり、その販売額は、白ネギ、すいかに次ぎ第3位となっており、本県の主要野菜に位置づけられ、今後も発展を期待される重要な品目である。
- 8月上旬から定植が始まる秋冬ブロッコリーは、9月下旬から順次出荷が始まっており、西部農協管内における9月16日現在の定植面積は213.5haである。
- 台風16号の通過に伴う連続降雨で、ブロッコリーの大産地である大山町を中心にブロッコリーが枯死する被害が発生し、被害額は西部農協管内だけで1.9億円が見込まれる。
- ブロッコリーは、野菜価格安定制度によって価格が下落した際に価格差が補填されるが、台風等の気象災害に対しては、農協共済などの救済制度がないため、農家経営の悪化が見込まれる。

平成28年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

道路企画課 (内線7351)

2目 道路橋りょう維持費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
道路維持修繕費 [単県公共事業]	2,553,650	5,000	2,558,650				5,000	
トータルコスト	2,757,178	5,000	2,762,178	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	26.1人	0人	26.1人	-				
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成28年9月20日の台風16号豪雨により、県道倉吉江府溝口線(倉吉市鴨河内)で切土法面の土砂崩落(L=13m, V=350m³)が発生し全面通行止めとしている。

道路復旧工事の事業化に先立ち、早期に通行止めを解除するため応急仮設工事(土砂撤去及び大型土のう設置等)を現計予算にて対応を行ったが、その費用は当初予定していないものであり、今後の道路維持修繕に不足が生じるため、予算の増額を行う。

2 主な事業内容

【被害状況】

豪雨によりL=13m区間の切土法面(h=20m)が崩落し土量約350m³が道路(W=4m)に堆積。

【応急仮設工事の内容】

- ・崩落土砂撤去 V=350m³
- ・大型土のう設置 N=54袋



3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成28年9月20日(火)土砂崩落により同日午後2時55分から全面通行止め(L=500m)を開始。
- ・天候が回復した9月24日(土)から応急仮設工事に着手し9月27日(火)に完了。
- ・9月末までの間、崩落斜面の経過観察を行い安全を確認したうえで、10月3日(月)に全面通行止めを解除する予定。ただし仮設大型土のうにより幅員が狭小なため、大型車は継続して通行止めとする。

平成28年度 一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
7目 治山費

治山砂防課 (内線7821)
(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般財源	
治山維持修繕費 [単県公共事業]	44,950	5,000	49,950				5,000	
トータルコスト	58,986	5,000	63,986	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.8人	0人	1.8人	—				
工程表の政策目標(指標)	—							

1 事業の目的・概要

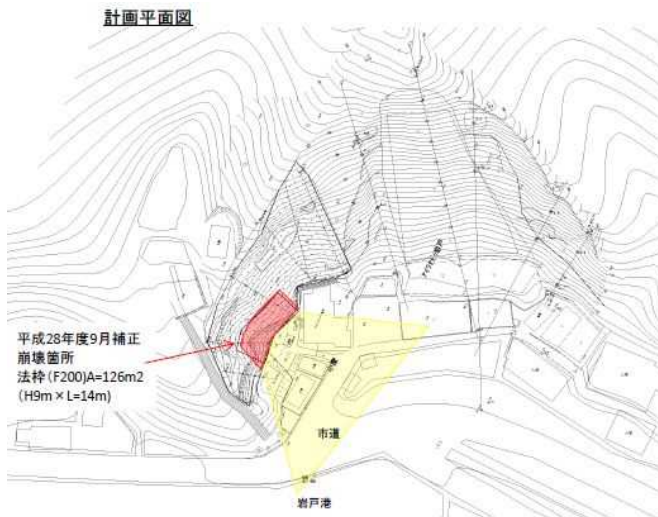
鳥取市福部町岩戸地区において、平成28年9月の台風16号による豪雨により斜面崩落が発生し、人家の目前まで土砂が崩落した。

現在大型土のう及びブルーシート等により応急的な対応を行っているが、このまま放置すれば、さらに大規模な斜面崩壊が発生する様相を呈しているため、緊急的に施設の修繕等を行うことにより、災害の未然防止及び施設の延命化を図る。

2 主な事業内容

岩戸地区 1か所 C=5,000千円

既設の法面対策工が平成28年9月の台風16号により部分的に崩壊し、今後の拡大崩壊等を防ぐため、法枠工にて修繕を行う。



3 これまでの取組状況、改善点

現在県において大型土のう及びブルーシート等により応急的な対応を行っているが、今後の拡大崩壊等を防ぐ必要がある。

平成28年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費
3項 河川海岸費
3目 砂防費

治山砂防課 (内線7821)
(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般財源	
砂防事業新規事業化調整費 [単県公共事業]	121,550	16,000	137,550				16,000	
トータルコスト	146,504	16,000	162,504	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.2人	0人	3.2人	-				
工程表の政策目標(指標)	-							

1 事業の目的・概要

平成28年9月の台風16号等による豪雨により発生した土砂崩落等について、早急に土砂災害から地域を守るため、補助事業採択に必要な用地基礎調査及び事業化調査を実施するものである。

2 主な事業内容

(1) 調査実施箇所

急傾斜地崩壊対策 2か所 C=16,000千円

ア 鳥取市鹿野町岡木(岡井地区) C=9,000千円

イ 米子市淀江町福井(福井地区) C=7,000千円

(2) 被災箇所の補助事業採択を図るため、次の調査を実施する。

ア 用地基礎調査

事業計画案を作成後、土地所有者を把握するため、登記簿等の調査を行う。

イ 事業化調査

地形測量及び概略設計等を実施し、補助採択に必要な資料を作成する。



鳥取市鹿野町岡井地区被災状況(9/12 被災)



米子市淀江町福井地区被災状況(9/12、9/20 被災)

3 これまでの取組状況、改善点

現在各市において大型土のう及びブルーシート等により応急的な対応を行っているが、今後の拡大崩壊等を防ぐ必要がある。